

令和 8 年度第 1 回 足立区在宅療養推進協議会 次第

1 開会挨拶 足立区在宅療養推進協議会 有野 亨 会長

2 新任委員紹介

3 協議事項

- (1) 在宅療養普及啓発紙の発行及び P T メンバーの選出について 【資料 1】
- (2) 令和 7 年度在宅医療介護連携推進事業の振り返りについて 【資料 2】

4 案件

- (1) 令和 8 年度入退院支援相談員交流会の開催について 【資料 3】
- (2) 各団体（専門職）の地域貢献の取り組みについて 【資料 4】

5 報告

- (1) 令和 8 年度第 1 回足立区医療介護スキルアップ研修の開催について 【資料 5】
- (2) すこやかプラザ あだち大研修室の利用実績について 【資料 6】
- (3) 令和 7 年度在宅療養支援窓口の相談実績について 【資料 7】
- (4) 在宅療養リーフレットのリニューアルについて 【別添】
- (5) M C S の出張研修について 【別添】
- (6) 令和 8 年度介護職員研修の実施計画について 【資料 8】
- (7) 介護職員資格取得助成金のオンライン申請について 【資料 9】

6 各団体からの情報共有について

7 令和 8 年度第 2 回足立区在宅療養推進協議会の開催について

- (1) 開催場所
すこやかプラザ あだち 大研修室
- (2) 開催候補日時
令和 8 年 7 月 ① 1 3 日(月) ② 2 7 日(月) 1 9 時～
- (3) 内容
 - ア 医療・介護スキルアップ研修の振り返り及び第 2 回のテーマについて
 - イ 在宅療養普及啓発について
 - ウ 各職種・団体の課題共有について など

8 事務連絡

令和 8 年度在宅療養普及啓発紙の発行について

1 発行について

(1) 目的と対象

在宅療養が気になっているご本人やその家族（50 代～80 代を想定）の方に在宅療養を知っていただき、選択肢に加えてもらう。

(2) 紙面構成（案）

1 面（表紙）：タイトルと写真で明るい雰囲気にする。

2・3 面（中面）：テーマに沿った特集ページを見開きで展開する。

4 面（裏面）：在宅療養に関わるトピックス（意思決定など）や、編集後記（PT からひとこと）など。

(3) 発行スケジュール

令和 8 年 4 月 本日	令和 8 年 8 月 第 2 回 在宅療養推進協議会	令和 8 年 11 月 第 3 回 在宅療養推進協議会	令和 9 年 1 月
① テーマの決定 ② プロジェクト チーム選出	① 各ページの内容 ② 配布数の決定	① 完成イメージの 共有	・普及啓発紙 発行
	→	→	→

2 テーマ（案）について

案 1	<u>「レシピ」（支援体制）の事例を掘り下げる</u> ・前回で紹介したような困りごとに対し、より具体的な支援内容を紹介する。 ・PT で選んだ 2 つ程度のパターンに絞る代わりに、関係機関の表示を増やす。
案 2	<u>「在宅療養推進協議会」（関係機関の連携）の紹介を掘り下げる</u> ・協議会としての理念や、区民啓発講座などの活動内容を中心に紹介する。 ・各職種についての紹介として、前回のインタビュー記事へのリンクを貼る。
案 3	<u>前回紹介しなかった事例（看取り・意思決定など）を取り上げる</u> ・意思決定までの不安や葛藤への共感を軸に、物語仕立てなどで紹介する。 ・支援者がどんな関わりをするかについては、上記に絡めて紹介する。

3 プロジェクトチームについて

(1) 活動期間

5 月～11 月（第 3 回在宅療養推進協議会での完成イメージ承認まで）

(2) 活動内容

ア 11 月までに 3～4 回、不定期で開催予定

イ 記事の具体的な内容、紙面構成などを協議する。

(3) メンバー選出

「参考」令和 7 年度メンバー 7 名 + 事務局（医療介護連携課）

件 名	令和 7 年度 医療介護連携推進事業の実施結果について																																																																											
所管部課名	福祉部 高齢者施策推進室 医療介護連携課																																																																											
内 容	在宅医療と介護を一体的に提供するための医療介護連携推進事業について、令和 7 年度の実施結果を報告する。 1 医療介護連携研修 (1) 団体別参加者 医療介護スキルアップ研修・多職種連携研修会・MC S 操作研修会・入退院支援相談員交流会の参加者合計 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th><th rowspan="2">団 体 名</th><th colspan="2">参加人数</th><th rowspan="2">前年比</th></tr> <tr> <th>令和 6 年度</th><th>令和 7 年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>足立区医師会</td><td>55</td><td>67</td><td>+12</td></tr> <tr><td>2</td><td>東京都足立区歯科医師会</td><td>11</td><td>15</td><td>+4</td></tr> <tr><td>3</td><td>足立区薬剤師会</td><td>99</td><td>55</td><td>-44</td></tr> <tr><td>4</td><td>東京都柔道整復師会 足立支部</td><td>17</td><td>17</td><td>±0</td></tr> <tr><td>5</td><td>足立区介護サービス事業者 連絡協議会</td><td>221</td><td>215</td><td>-6</td></tr> <tr><td>6</td><td>あだちPOSネットワーク</td><td>28</td><td>40</td><td>+12</td></tr> <tr><td>7</td><td>東京都栄養士会足立支部</td><td>23</td><td>16</td><td>-7</td></tr> <tr><td>8</td><td>足立区多機能サービス 連絡会</td><td>7</td><td>15</td><td>+8</td></tr> <tr><td>9</td><td>地域包括支援センター</td><td>222</td><td>278</td><td>+56</td></tr> <tr><td>10</td><td>病院地域連携室担当</td><td>85</td><td>149</td><td>+64</td></tr> <tr><td>11</td><td>その他（特養・老健等）</td><td>0</td><td>45</td><td>+45</td></tr> <tr><td>—</td><td>足立区（福祉事務所等）</td><td>28</td><td>15</td><td>-13</td></tr> <tr> <td colspan="2">合計</td><td>796</td><td>927</td><td>+131</td></tr> </tbody> </table>					団 体 名	参加人数		前年比	令和 6 年度	令和 7 年度	1	足立区医師会	55	67	+12	2	東京都足立区歯科医師会	11	15	+4	3	足立区薬剤師会	99	55	-44	4	東京都柔道整復師会 足立支部	17	17	±0	5	足立区介護サービス事業者 連絡協議会	221	215	-6	6	あだちPOSネットワーク	28	40	+12	7	東京都栄養士会足立支部	23	16	-7	8	足立区多機能サービス 連絡会	7	15	+8	9	地域包括支援センター	222	278	+56	10	病院地域連携室担当	85	149	+64	11	その他（特養・老健等）	0	45	+45	—	足立区（福祉事務所等）	28	15	-13	合計		796	927	+131
	団 体 名	参加人数		前年比																																																																								
		令和 6 年度	令和 7 年度																																																																									
1	足立区医師会	55	67	+12																																																																								
2	東京都足立区歯科医師会	11	15	+4																																																																								
3	足立区薬剤師会	99	55	-44																																																																								
4	東京都柔道整復師会 足立支部	17	17	±0																																																																								
5	足立区介護サービス事業者 連絡協議会	221	215	-6																																																																								
6	あだちPOSネットワーク	28	40	+12																																																																								
7	東京都栄養士会足立支部	23	16	-7																																																																								
8	足立区多機能サービス 連絡会	7	15	+8																																																																								
9	地域包括支援センター	222	278	+56																																																																								
10	病院地域連携室担当	85	149	+64																																																																								
11	その他（特養・老健等）	0	45	+45																																																																								
—	足立区（福祉事務所等）	28	15	-13																																																																								
合計		796	927	+131																																																																								

(2) 実施結果

ア 医療介護スキルアップ研修

(ア) 目的

在宅療養に関わる多職種の「医療介護現場での実践力の向上」を図ることで、在宅療養の提供体制を強化していく。

(イ) 開催結果

【第1回】

開催日時	令和7年7月26日（土）14時～16時
開催場所	すこやかプラザ あだち 大研修室
研修テーマ・講師	第1部 基調講演 「睡眠の謎に挑む～健やかな睡眠から始まるウェルネス～」 筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構 機構長 柳沢正史氏 第2部 シンポジウム 「医療・介護業界を取り巻く睡眠と健康」 結城宣博氏 足立区社会福祉協議会 橋爪敏彦氏 足立区医師会 羽田雅代氏 訪問看護部会 永田健一氏 足立区多機能サービス連絡会
参加者	167名

【第2回】

開催日時	令和7年11月27日（木）19時～21時
開催場所	すこやかプラザ あだち 大研修室
研修テーマ・講師	本人中心でともにつくるケアに向けて ～社会的処方と可能性指向を手がかりに～ 慶応義塾大学大学院健康マネジメント研究科教授 一般社団法人 人とまちづくり研究所 代表理事 堀田聡子氏 株式会社 studio-L 東京事務所代表 一般社団法人 人とまちづくり研究所 理事 西上 ありさ氏
参加者	146名

医療介護スキルアップ研修会の様子



イ 多職種連携研修会

(ア) 目的

在宅療養に関わる多職種の「顔が見え相談できる関係づくり」を進めることで、ブロック内で課題解決する連携体制を構築する。

(イ) 開催回数 区内5ブロック 各1回

(ウ) 開催結果【別紙】

多職種連携研修会の様子



ウ 多職種連携全体交流会

開催日時	令和7年12月11日(木) 19時～21時
開催場所	すこやかプラザ あだち 大研修室
内容	① 令和7年度多職種連携研修各ブロック開催結果の情報共有 ② 令和8年度多職種連携研修各ブロック開催内容の検討
参加者	60名

(3) 今後の方針

ア 医療介護スキルアップ研修会は、在宅療養推進協議会で意見を伺いテーマを選定したうえで、「すこやかプラザ あだち」の大研修室を活用し、年2回開催する。

イ 多職種連携研修会は、各ブロック世話人会を年3回開催し、研修の企画、実施のほか、医療介護連携におけるブロックごとの課題解決に向けた検討を行っていく。

2 入退院支援相談員交流会

(1) 実施結果

ア 目的

区内医療機関の特徴や機能について理解し、医療機関同士の連携を推進するとともに地域との連携課題を検討する。

イ 開催結果

回数	開催日	内容	参加者
第1回	令和7年 5月15日(木)	「日常の生活支援」 の場面における課題 の共有	30 病院 51 名
第2回	令和7年 9月11日(木)	「退院支援」におけ る課題の共有	26 病院 43 名
第3回	令和7年 12月4日(木)	在宅における「急変 時」の課題共有	19 病院 43 名
第4回	令和8年 2月12日(木)	ケアマネジャー、訪 問看護師等との交流	14 病院 25 名 他 36 名
合計			185 名

(2) 今後の方針

令和8年度は、医療と介護の切れ目のない支援を推進するため、介護保険の在宅サービスや施設サービスの関係者を交えて交流会を開催する。

入退院支援相談員交流会の様子



3 在宅療養講座

(1) 目的

訪問型の医療や介護サービスを利用しながら「住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続ける」ための在宅療養について、区民の理解を深める。

(2) 開催結果

【第1回】

開催日時	令和7年11月1日（土）14時～16時
開催場所	勤労福祉会館
研修テーマ・講師	① 在宅療養総論の説明 講師 六ツ木診療所 山下 俊樹 氏 ② てぬぐいを使った筋肉維持のための体操 講師 医療介護連携課 在宅療養支援コーディネーター （あだち POS ネットワーク） 馬場 美鈴 氏 ③ 自宅で暮らしたいを支える支援チーム活動の実例 講師 ケアマネジメントセンター 大島 智文 氏 あけぼの訪問看護ステーション あだち 羽田 雅代 氏
参加者	40名

【第2回】

開催日時	令和8年2月14日（土）14時～16時
開催場所	すこやかプラザ あだち
研修テーマ・講師	① 在宅療養総論の説明 講師 ふれあいファミリークリニック 角 允博氏 ② てぬぐいを使った筋肉維持のための体操 講師 医療介護連携課 在宅療養支援コーディネーター （あだち POS ネットワーク） 馬場 美鈴 氏 ③ 自宅で暮らしたいを支える支援チーム活動の実例 講師 わかばケアセンター 遠藤 貴美子 氏 訪問看護リハビリステーション白樺 沼田 睦美 氏
参加者	95名

(3) 今後の方針

区民啓発講座に新たに意思決定支援の内容を盛り込み、年2回開催する。

区民啓発講座の様子



4 在宅療養啓発紙【新規】

(1) 目的

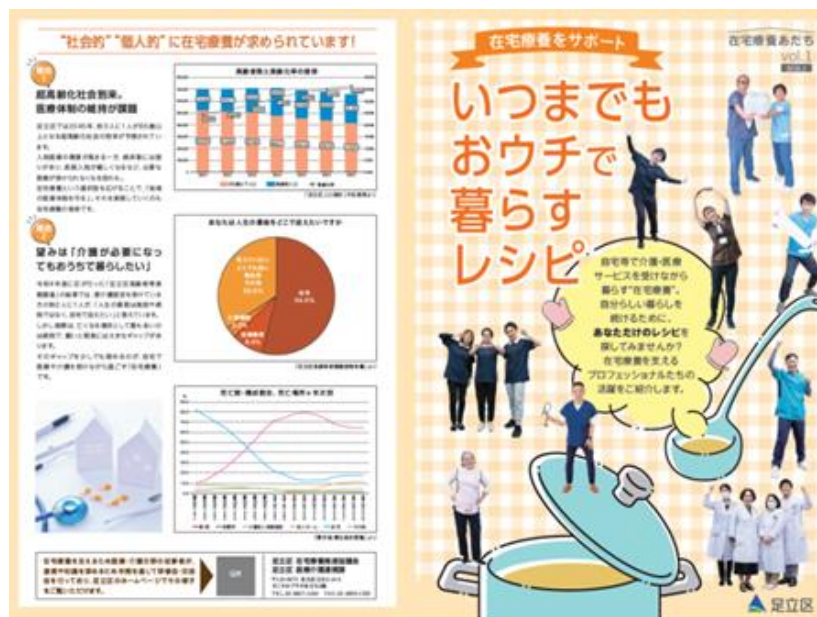
医療介護専門職チームによる在宅患者の支援内容を周知することで区民の関心と安心を高め、在宅療養を選択肢のひとつとして考えるきっかけとする。

(2) 結果

在宅療養普及啓発紙「在宅療養あだち」を令和8年1月に発行し、区内医療介護機関やイベント等で配布している。また、啓発紙発行にあたり実施した医療介護専門職へのインタビュー内容の詳細を足立区ホームページに掲載した。

(3) 今後の方針

引き続き、在宅療養推進協議会でプロジェクトチームを立ち上げ、医療介護関係者の意見を基に、区民啓発紙を発行する。



5 MCS操作研修会

(1) 目的

MCS※を登録した医療介護関係者が、情報共有の操作方法を学ぶことで、患者・利用者の円滑なサービス提供を促進する。

※ MCS（メディカルケアステーション）とは

患者・利用者情報等を共有する医療介護関係者専用の連携ツール

(2) 開催結果

① 開催回数 4回（初級編3回・中級編1回）

② 参加人数 59人

(3) 課題

① 普及が進んでおり、初級編研修に対するニーズが少なくなっている。

② ホウカツ等が実施する研修にMCSを盛り込むなど、MCS研修に対するニーズが多様化している。

(4) 今後の方針

MCSの出張研修及び、ホウカツ単位での研修開催支援を実施しつつ、病院、特別養護老人ホーム、訪問介護等の会議に参加し、MCSの活用や出張研修のスキームについて周知を進めていく。

令和 7 年度 足立区多職種連携研修会実施結果

	日 時	場 所	参加機関・人数	テーマ・研修内容	グループワークの内容	アンケート結果・ブロック内の取組
第 1 回 (北部ブロック)	令和 7 年 6 月 2 7 日 (金) 1 9 時～2 1 時	竹の塚地域 学習センター レクリエーシ ョンホール	・医師会 (7 名)・歯科医師会 (1 名) ・薬剤師会 (6 名)・地域包括 (1 3 名) ・栄養士会 (1 名) ・介護事業者連絡協議会 (1 5 名) ・POS (7 名)・柔道整復師会 (0 名) ・多機能サービス連絡会 (1 名) ・足立区福祉事務所 (2 名)・栄養施策 (1 名) <u>合 計 5 4 名</u>	「伝えたいけど伝えられない 現場 のもどかしさに向き合う～個人情報 のトリセツ～」 個人情報について講義・グループワ ーク 講師：基幹地域包括支援センター 安田 雅俊氏	① 自己紹介 ② 講義を聞いての感想 ③ 事例検討 (2 事例) 事例 1 は奇数グループ 事例 2 は偶数グループ	【感想・自由意見】 ・正解があるのか、難しいテーマだが、いろ いろな人から話が聞けて良かった。 ・個人情報について、とても勉強になった。 【エリア勉強会・イベント】 ・ランチMT (世話人からの情報発信)
第 2 回 (千住ブロック)	令和 7 年 7 月 1 7 日 (木) 1 9 時～2 1 時	足立区生涯学 習センター 4 階講堂	・医師会 (3 名)・歯科医師会 (1 名) ・薬剤師会 (4 名)・地域包括 (22 名) ・栄養士会 (1 名) ・介護事業者連絡協議会 (17 名) ・POS (5 名)・柔道整復師会 (2 名) ・多機能サービス連絡会 (1 名) ・足立区福祉事務所 (3 名) その他 (1 名) <u>合 計 6 0 名</u>	「あなたならどうする～千住ひとり 暮らし編～」 千住の現状について講義・グループ ワーク 講師：地域包括支援センター日の出 因田 貴則氏	① 自己紹介 ② 事例検討 (4 事例) ③ 千住ひとり暮らしの方が備えてお くと良いこと (グループワーク)	【感想・自由意見】 ・現場につながる事例や考え方、視点などが 得られた。 ・息つく暇もない 2 時間で、退屈せず勉強に なった。 【エリア勉強会・イベント】 ・ランチMT 「各職種からみた千住のまち」
第 3 回 (東部ブロック)	令和 7 年 8 月 2 0 日 (水) 1 9 時～2 1 時	勤労福祉会館 2 階ホール	・医師会 (5 名)・歯科医師会 (1 名) ・薬剤師会 (1 名)・地域包括 (14 名) ・栄養士会 (1 名) ・介護事業者連絡協議会 (36 名) ・POS (2 名)・柔道整復師会 (1 名) ・多機能サービス連絡会 (1 名) ・福祉事務所 (2 名)・その他 (2) <u>合 計 6 6 名</u>	「古い支度を考えよう～多職種で できること～」 ACP について講義・グループワーク 講師：のぞみ在宅クリニック 川田 悠氏	① 自己紹介 ② 講義の感想 ③ じぶんノートを書いてみよう ④ じぶんノートの活用について ⑤ 質疑応答	【感想・自由意見】 ・じぶんノートを勧める側も、ACP につい て理解しておく必要があると感じた。 ・古い支度について、改めて考える良い機会 になった。 【エリア勉強会・イベント】 ・ランチMT ・かけはしの会
第 4 回 (西部ブロック)	令和 7 年 9 月 2 6 日 (金) 1 9 時～2 1 時	すこやかプラ ザ あだち 大研修室	・医師会 (4 名)・歯科医師会 (1 名) ・薬剤師会 (11 名)・地域包括 (24 名) ・栄養士会 (1 名) ・介護事業者連絡協議会 (16 名) ・POS (1 名)・柔道整復師会 (1 名) ・多機能サービス連絡会 (5 名) ・福祉事務所 (3 名) その他 (1 名) <u>合 計 6 8 名</u>	「もしも介護サービスがなかったら ～社会的処方 2 0 2 5～」 社会的処方について講義・グループ ワーク 講師：足立区社会福祉協議会 基幹地域包括支援センター東部 主査 鈴木 正文氏 主査 野口 弘美氏	① 自己紹介 ② 事例を通して社会的処方を考える ③ 地域福祉コーディネーターによる 総評	【感想・自由意見】 ・地域資源について、情報収集の仕方を学ぶ ことができた。 ・地域資源の活用をしていきたい。 【エリア勉強会・イベント】 ・ふれあい健康まつり ・ハウカツ版「多職種連携研修会」
第 5 回 (中部ブロック)	令和 7 年 1 0 月 日 2 9 (水) 1 9 時～2 1 時	梅田地域学習 センター 4 階 レクホール	・医師会 (2 名)・歯科医師会 (1 名) ・薬剤師会 (11 名)・地域包括 (19 名) ・栄養士会 (1 名) ・介護事業者連絡協議会 (6 名) ・POS (9 名)・柔道整復師会 (2 名) ・多機能サービス連絡会 (1 名) ・福祉事務所 (5 名)・その他 (5) <u>合 計 6 2 名</u>	「ともに学ぶ認知症ケア～事例から 学ぶ多職種連携のヒント」 足立区の認知症施策について講義・ グループワーク 講師： 足立区高齢者地域包括ケア推進課認 知症施策推進担当 佃 美幸氏	① 自己紹介 ② 事例検討 (4 事例) ③ 振り返りグループワーク 「どんな気づきがあったか」	【感想・自由意見】 ・病院勤務のため、今自分ができることを改 めて考えるきっかけになった。 ・どの事例も直面したことのあるケースで、 他の職種の方の意見が聞けて参考になった。 【エリア勉強会・イベント】 ・ランチMT 「各職種からみた認知症」

5 ブロック合計 3 1 0 名参加 (参考：令和 6 年度 3 1 5 名参加)

入退院支援相談員交流会について

医療介護連携課

1 令和7年度入退院支援相談員交流会開催結果

(1) 開催テーマ

在宅医療介護の4つの場面「日常の療養支援」「退院支援」「急変時」「看取り」に着目し意見交換

(2) 開催結果

回数	開催日	主な内容	参加者
第1回	令和7年 5月15日(木)	「日常の療養支援の場面」における課題と連携推進	30病院 51名
第2回	令和7年 9月11日(木)	「入退院支援」における課題	26病院 43名
第3回	令和7年 12月4日(木)	在宅療養における「急変時」の課題	19病院 30名
第4回	令和8年 2月12日(木)	訪問看護師やケアマネジャーとの入退院支援における課題の共有	14病院 病院相談員25名 ケアマネジャー21名 訪問看護師15名 計61名
合計			89病院 185名

2 令和8年度入退院支援相談員交流会開催予定

(1) 開催概要

ア 目的

区内医療機関の特徴や機能について理解し、医療機関同士の連携を推進するとともに地域との連携課題を検討する。

イ 対象

区内有床病院に所属する相談員

(2) 開催案

令和8年度テーマ：地域でつなぐ入退院支援 ～医療と介護の切れ目ない連携～

回数	開催日	内容
第1回	令和8年 5月14日(木) 18時～19時半 すこやかプラザ	地域包括支援センターの業務内容の理解 病院相談員、退院支援看護師と地域包括支援センター職員との交流会
第2回	令和8年 8月27日(木)	施設(特養・老健)との意見交換会 施設入居者の1日の紹介/医療機関に対して知ってほしいこと
第3回	令和8年 12月3日(木)	虐待通報について(通報のタイミングと連携) 事例検討等
第4回	令和9年 2月25日(木)	在宅療養に関わる多職種との意見交換会 ワールドカフェ

医療介護専門職団体の「地域との関係性づくり」に関するアンケート（依頼）

日頃から、足立区福祉行政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、足立区在宅療養推進協議会では、最期まで住み慣れた地域において自分らしい生活を送ることができるよう、在宅医療と介護を切れ目なく一体的に提供する体制の充実を目指しています。その一環として、各専門職団体（または専門職）が現在取り組まれている「地域とのつながり」や「地域に向けた活動」について、情報共有させていただきたいと考えております。

つきましては、以下のアンケートにご回答いただきたく存じます。なお、集計結果は、令和8年度第2回足立区在宅療養推進協議会にて共有し、「団体同士（専門職間）で協力して取り組めること」「お互いの強みを活かして地域を支えるためにできること」を具体的に協議する材料とさせていただきます。

ご多忙の折誠に恐縮ですが、趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

1 貴団体が現在行っている「地域との関係性づくり」について

（実施しているものにチェックを入れ、具体的な内容をご記入ください）

- ☐ 住民向け啓発活動（健康講座、認知症サポーター養成講座など）
【】
- ☐ 地域イベントへの参画（お祭りでの相談ブース、健康測定など）
【】
- ☐ 地域住民との交流（茶話会への参加、サロンへの専門職派遣など）
【】
- ☐ 多職種連携の場づくり（他団体との勉強会、顔の見える関係づくりの交流会）
【】
- ☐ その他
【】

2 上記活動の中で、特に大切にしていることや、得られた成果があれば教えてください。

（例：区民の顔が見えるようになった、他職種へ相談のハードルが下がった、など）

【】

3 他の専門職団体と「一緒に取り組んでみたいこと」はありますか。

（例：医師会と介護職で看取りの座談会をしたい、等）

【】

4 地域とのつながりを作る上での課題や、悩みがあればお聞かせください。

（例：スタッフの確保が難しい、広報の仕方がわからない、など）

【】

5 すでに開催が決まっている住民向け講座や医療介護関係者向けの研修会がございましたら、別紙にてお知らせください。（医療と介護の連携・研修センターホームページに掲載させていただきます。）

研修会等 ホームページ掲載情報

[illegible]

令和 8 年度 第 1 回足立区医療介護スキルアップ研修の開催について

- (1) 開催日 令和 8 年 6 月 2 5 日 (木) 1 9 時～2 1 時
 (2) 開催場所 すこやかプラザ あだち 3 階 大研修室
 (3) 内容

司 会	足立区 医療介護連携課 渡邊 和広
開会挨拶	足立区 在宅療養推進協議会 会長 有野 亨
内 容	【テーマ】 精神疾患をかかえた高齢者が安心して地域で暮らすために
	【第 1 部】講義 (4 0 分) 講師：東京足立病院 院長 平野 亘 氏 【第 2 部】保健センターの役割 (2 0 分) 講師：足立保健所 保健師 田中 恭子 精神保健係長
	【シンポジウム】(4 5 分) 事例についてそれぞれの視点から ファシリテーター 足立区社会福祉協議会 結城 宣博 氏 パネリスト 東京足立病院 院長 平野 亘 氏 おうち訪問看護ステーション西新井 看護師 富永 佳代 氏 元気ケアプランニングセンターTokyo ケアマネジャー 阿部 敦子 氏
講評	足立区多機能サービス連絡会 代表 永田 健一

件 名	令和7年度「すこやかプラザ あだち」大研修室の利用状況について																																
所管部課名	福祉部 高齢者施策推進室 医療介護連携課																																
内 容	令和7年4月21日（月）に開設した「すこやかプラザ あだち」3階大研修室の令和7年度利用状況について、以下のとおり報告する。 1 利用状況（令和7年4月21日～令和8年3月31日） （1）全期間を通しての平日利用は45.9％と、土・日・祝日と比べて比較的高くなっている。 （2）土・日・祝日は全体的に低かったが、10月から12月はピンクリボン講演会や理学療法士の研修会など利用があり、利用率が高かった。 2 団体・所管別利用状況 （1）医療介護団体の利用は14.8％となっている。 （2）医療介護団体別にみると、足立区医師会の利用（医療介護団体利用のうち33.1％）が最も多い。夜間を中心に学術講演会が多く行われている。 全期間平均利用率 36.2% <table><thead><tr><th>期間</th><th>合計</th><th>平日</th><th>休日</th></tr></thead><tbody><tr><td>4～6月</td><td>30.4%</td><td>44.2%</td><td>1.4%</td></tr><tr><td>7～9月</td><td>35.3%</td><td>47.7%</td><td>9.6%</td></tr><tr><td>10～12月</td><td>43.9%</td><td>49.4%</td><td>32.1%</td></tr><tr><td>1～3月</td><td>34.1%</td><td>41.5%</td><td>20.0%</td></tr></tbody></table> <table><thead><tr><th>団体・所管</th><th>利用率</th></tr></thead><tbody><tr><td>福祉部</td><td>55.9%</td></tr><tr><td>衛生部</td><td>14.0%</td></tr><tr><td>医療介護団体</td><td>14.8%</td></tr><tr><td>社協・ホウカツ</td><td>13.3%</td></tr><tr><td>その他</td><td>2.0%</td></tr></tbody></table> 【医療介護団体の利用例】 在宅医療塾、学術講演会（医師会）、主任ケアマネジャー研修会、ケアプランデータ連携システム研修、訪問看護部会研修（介護サービス事業者連絡協議会）、食のネットワーク研修会（栄養士会）、区民健康まつり（4師会合同）、等	期間	合計	平日	休日	4～6月	30.4%	44.2%	1.4%	7～9月	35.3%	47.7%	9.6%	10～12月	43.9%	49.4%	32.1%	1～3月	34.1%	41.5%	20.0%	団体・所管	利用率	福祉部	55.9%	衛生部	14.0%	医療介護団体	14.8%	社協・ホウカツ	13.3%	その他	2.0%
期間	合計	平日	休日																														
4～6月	30.4%	44.2%	1.4%																														
7～9月	35.3%	47.7%	9.6%																														
10～12月	43.9%	49.4%	32.1%																														
1～3月	34.1%	41.5%	20.0%																														
団体・所管	利用率																																
福祉部	55.9%																																
衛生部	14.0%																																
医療介護団体	14.8%																																
社協・ホウカツ	13.3%																																
その他	2.0%																																

3 今後の方針

令和7年11月より、医療介護団体会員以外で個別の医療機関や介護事業者であっても、医療や介護に関する区民向けの講座、資質向上、連携強化に向けた事業等で公益性が認められる場合は利用を可とした。

多職種が集まる研修会や在宅療養支援コーディネーターのアプローチ、区ホームページ等により利用を勧奨していく。

令和 7 年度在宅療養支援窓口の実績報告 (令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日)

「足立区在宅療養支援窓口」は、高齢者が住み慣れた地域で療養しながら安心して生活できるよう、地域の医療・介護関係者からの相談に応じ、連携の調整や情報提供などの支援を行っている。令和7年度の相談件数は144件。

1 相談内容

(1) 相談内容別件数（1 件の相談で複数該当あり）

順位	相談内容	件数 (件)	割合 (%)
1	在宅療養に関すること	47	30.9
2	利用者の入院先医療機関に関すること	29	19.1
3	保健医療福祉制度・サービスに関すること	21	13.8
4	利用者の入所先施設に関すること	11	7.2
5	利用者の通院先医療機関に関すること	9	5.9
6	利用者の転院先医療機関に関すること	8	5.3
7	退院後の利用者の処遇に関すること	4	2.6
8	支援困難な認知症の利用者に関すること	2	1.3
8	利用者の治療・疾患に関すること	2	1.3
8	ケアマネジメントに関すること	2	1.3
-	利用者の看取りに関すること	0	0.0
-	その他	17	11.2
合計		152	100

(2) 主な相談事例

< 1 位 > 在宅療養に関すること

- ① 特定の診療科（神経内科、血液内科、耳鼻科等）の訪問診療を
教えてほしい。
⇒ 対応可能な医療機関を案内。
- ② 区外の病院への通院が困難になってので、訪問診療に切り替えたい。
⇒ 状況や状態にあった医療機関を2か所以上紹介。

< 2 位 > 利用者の入院先医療機関に関すること

- ① 精神科病院で入院できる病院はないか。
⇒ 入院受け入れ可能と情報のある病院を案内。
- ② 治療目的ではないレスパイトや療養目的の入院を希望している。
⇒ 状況や状態にあった医療機関を2か所以上紹介。

在宅療養に関する相談は医療機関を教えて欲しいという内容が多数を占めており、専門医や専門治療等具体的な要望が目立った。入院先医療機関に関することでは、「精神疾患」「認知症」の方の入院先相談が多かった。

2 相談者別件数

順位	相談者	件数（件）	割合（％）
1	居宅介護支援事業所	40	27.8
1	地域包括支援センター	40	27.8
3	本人・家族	23	16.0
4	病院MSW	7	4.9
5	施設	6	4.2
6	病院看護師	5	3.5
7	診療所	2	1.4
8	地域住民	1	0.7
8	訪問看護ステーション	1	0.7
－	介護事業所	0	0.0
－	障がい者施設	0	0.0
－	他区市町村連携窓口	0	0.0
－	その他	19	13.2
	合計	144	100

3 在宅療養支援窓口の周知活動

在宅療養相談窓口のチラシをリニューアル(令和8年1月)し、区内の地域包括支援センターへ配布した。令和8年度は、医療介護関係者向けの研修会や、事業所への訪問の際に持参し案内する。

MCS出張研修のご案内

～はじめての方・今さら聞けない方向け～

■ MCS(メディカルケアステーション)とは？

医療介護従事者や患者家族のための、
完全非公開型SNSです。



■ 研修のポイント



対象

これから使い始める方、
基本を再確認したい
医療・介護関係者。



形式

病院・施設・団体への
出張形式。5～15名
程度の少人数もOK！



内容(60～90分)

概要説明、新規登録・
設定、基本操作。
※その場で登録・設定まで
サポート可能です。

■ 当日ご準備いただくもの



インターネット
接続環境



スマートフォン
またはタブレット
(参加者各自)



プロジェクター
(可能であれば)

■ お申込み・お問い合わせ

お申込みの際は、以下の情報を
添えてお電話ください：

- ① 団体名・施設名
- ② ご希望日時 など



【窓口】足立区 医療介護連携課
担当：渡邊
電話：03-6807-1219

令和8年度 足立区介護職員研修事業

	実施月	カテゴリー	テーマ
1	4月	接遇	接遇マナー、対人援助者技術 (外国人受け入れについて)
2	5月	精神的ケア	メンタルヘルスケア
3	6月	接遇	外国人介護職員向け 介護の日本語、記録の取り方
4	7月	職業倫理	倫理要綱・法令遵守
5	8月	災害対応	災害時におけるBCPの策定
6	9月	認知症	認知症ケアに関する研修
7	10月	感染症	感染症予防
8	11月	医療教育	介護職が知っておくべき薬の知識(1H) 高齢者の食事・栄養に関する知識(1H)
9	12月	ハラスメント	ハラスメントの理解・クレーム対応
10	1月	虐待防止	虐待防止に関する法令(定義・理解)
11	2月	医療教育	障がいの理解 精神疾患のある方への対応
12	3月	ターミナル	ターミナル基礎・医療連携
※別途、令和7年度に作成した介護実技動画(入浴介助、排泄介助、食事介助、移乗・移動介助)を 申込者を対象にYouTube上で限定配信予定。			

(参考)令和8年度 主任介護支援専門員研修・介護支援専門員研修

主任介護支援専門員研修	第1回 5月19日(火) / 第2回 11月
介護支援専門員研修	第1回 9月 / 第2回 令和9年2月

令和8年度からオンライン申請が可能になりました

令和8年度版

足立区介護職員資格取得支援事業のご案内

足立区の介護人材の確保・定着を図るため、区内の介護保険事業所等に勤務している職員の資格取得を支援する事業者に対して必要経費を助成します。

対 象 事 業 者

足立区介護職員資格取得等支援事業助成金交付要綱第2条に掲げる指定介護事業所等を区内で運営し、その事業所に勤務する職員の研修受講料等を負担した事業者

助成対象・助成金額 ※ 助成申請を行う資格によって申請書が異なります。

申請書様式	資格名称	助成金額 (1人/千円未満 切捨て)	対象経費
第1号の1	介護職員初任者研修	上限7万円	研修受講料、 試験受験料、 テキスト代、 振込手数料 など
	介護職員実務者研修	上限10万円	
第1号の2	介護支援専門員実務研修(受講試験含む)	上限10万円	
	介護支援専門員更新研修	上限5万円	
	介護支援専門員再研修		
第1号の3	主任介護支援専門員研修	上限10万円	
	主任介護支援専門員更新研修	上限5万円	
第1号の4	在宅介護インストラクター	上限5万円	
	高齢者ケアストレスカウンセラー		
	高齢者傾聴スペシャリスト		
	介護コミュニケーションアドバイザー		
	終末期ケア専門士		
	レクリエーション介護士		
	介護予防運動指導員		
	初級認知症ケア指導管理士		
	上級認知症ケア指導管理士		
	認知症介助士		
	認知症ライフパートナー		
	認知症アクティビティ・ケア専門士		
日本語研修			

令和9年3月までに修了した研修が対象

令和8年度は
令和7年4月から
令和9年3月まで
に修了した研修が対象

- ・ 同一職員の複数の資格について、経費を申請することが可能です。
- ・ 介護支援専門員の①実務研修受講試験②更新研修③再研修のみ、同一職員の経費を複数回申請することが可能です。
- ・ 交付申請書等は、区のホームページからダウンロードできます。
- ・ 申請期限は、研修修了日の属する年度の翌年度の末までです。

→ 裏面に続く

助成までの流れ

- 1 事業者が必要書類（下記①～④）を区に提出
 - ①「足立区介護職員資格取得等支援事業助成金交付申請書」（様式第1号の1～4）
 - ② 助成対象の職員が研修を修了した旨の証明書の写し
 - ③ 事業者が受講料等を研修実施機関に支払った費用の領収書の写し
 - ④ 事業者が職員に研修受講料等を助成した場合、確認書類（領収書等）の写し
- 2 区が審査し、交付決定通知を事業者に送付
- 3 事業者が交付決定した金額の請求書を区に提出
- 4 区から事業者の指定口座に振込み助成金を交付
- 5 区から事業者へ消費税仕入控除税額報告書の提出を依頼（翌々年度の4月）

よくあるご質問

問）研修受講時は職員が負担した費用を、後から事業者が職員へ支給した場合、どのような書類が必要ですか。

答）①職員が研修実施機関へ費用を支払ったことがわかる資料（領収書、研修実施機関が発行した支払証明書、振込用紙の控え等のコピー）と、②事業者が職員へ研修費用相当額を支払ったことがわかる資料（領収書、出金伝票、給与明細等のコピー）を、両方提出してください。

問）介護支援専門員実務研修受講試験を職員が受験しましたが、不合格でした。受験に係る費用を事業者が負担していた場合、不合格でも申請は可能ですか。

答）申請が可能です。受験年度と結果がわかる資料を提出してください。

問）一昨年の11月に合格した介護支援専門員の実務者研修を、昨年の9月に修了しました。今年度の申請は可能ですか。

答）申請が可能です。

※ 申請書ダウンロードや、最新の事業内容については、
区ホームページをご確認ください。

<https://www.city.adachi.tokyo.jp/koreservice/3103kaigosikakujusei.html>

※ 今年度からオンラインで申請できるようになりました。

<https://shinsei.city.adachi.tokyo.jp/apply/guide/4861>



問い合わせ・申請先

足立区 高齢者施策推進室 医療介護連携課 介護人材確保・育成支援担当

〒123-0872 足立区江北5-14-5 すこやかプラザあだち3階

電話：03-6807-1046 FAX：03-3899-1355